

※学年は平成25年3月現在。

卒業式

卒業式という3年生のお別れの式がありました。今年も、たくさんの方の保護者や地域の方に来ていただき、とても良い式になりました。

在校生からの贈る言葉では、卒業生との思い出や感謝の気持ちなどが述べられていました。また、卒業生からの送る言葉では、3年間過ごした思い出を聞き、涙を流す場面もありました。やっぱり、1年間は長く短いと改めて感じ、自分たちも3年生になるという不安や焦りも感じました。

しかし、3年生が敷いてくれた1本のレールを踏み外さないように、前へ前へと進んでいかなければならないという気持ちになりました。

今年の卒業式は、思い出に残る卒業式となりました。3年生と過ごしてきた日々の中で、たくさん学んだ事もあり、今度は、それを私たちが後輩に教えて、次へ次へと受け継いでいきたいです。

(佐賀中学校 2年 森田きらり)



人によって考え方も感じ方も違う

ハラハラ、ドキドキ。「ストレス体験ゲーム」をしました。2月20日は研究授業でたくさん先生の埋め尽くされました。緊張しながらも授業が始まり、初めは「スパーブラックボックス」というゲームをしました。アイマスクをした友だちが、中に入っているものをあてるゲームです。中には蛇のおもちゃやスライム、先生の手などです。見ている方は楽しそうでしたが、やっている方は、おもしろいという人もいれば、怖かったという人もいました。次は「パニックゲーム」です。風船が膨らんでいる間に問題を解いていきます。「割れるか。解けるか」「怖いか。楽しいか」

今日の授業では、同じことをしても「楽しい。おもしろい」と感じる人、「怖い。ハラハラした」と感じる人、さまざま意見が出ていました。

ストレスも人によって考え方も感じ方も違うことに気づけました。

(大方中学校 1年 佐野まりな)



植樹体験



私たち、佐賀小学校の5年生は蜷川地区の山で植樹体験をしました。

まず、木を植える所まで40分くらいかけてクネクネ道を登りました。そして森林組合の方にヒノキの苗の植え方などを教わりました。

私たちはクワで穴をほり、苗を植え付けるのは初めてだったけど、みんなが協力したら、早く木を植えることができました。

その後、森林についての説明を聞きました。山に木があることで、土砂くずれを防ぐこともできるし、水をきれいにしてくれる働きもしているそうです。

今日、自分たちで植えた木が成長して大きな森林になって、みんなの役に立ってくれたらうれしいです。

(佐賀小学校 5年)

浜岡音海・安森そら・山本菜桜